

離婚にまつわる 不動産事情^⑫

Re コンサル

文 / 川端ゆかり

どうも！ 川端です。おかげさまでリコンサルコラムも祝1年を迎えることになりました。持ち前？の「せっかくなので」精神が発動し、コラム冒頭はほぼ本題と関係ないことを書いては校正でゴッソリ削除、え？ その言い回しはそのままなんかい！ と、執筆から掲載までの過程、言葉遊びを毎回楽しんでいます。

過去と人への解釈は変えられる！？

さて、最近のわたしは「コミュニティー・オーガナイズング」という学問・手法を学んでいます。仲間を集め、輪を広げ、人々が共に行動することで社会変化を起こすことで、ムーブメントを起こすときの手法です。

20代～60代の6人の仲間が集う、そのオンライン勉強会の中で、先生から「大切にしている価値は何か？」という問いを受けた時のこと。メンバーのひとり30代H君が「過去と人は変えられない」と答えました。明朗快活好青年を地で行くH君が笑顔でサラリと発した名言に、わたしだけでなくメンバー一同「ほおおお」「確かに」となりました。

その場はことばを受け止めるにとどまりましたが、勉強会の後もずっとその名言は私の思考をぐるぐるぐる。まるで少し前の証券取引所の日経平均株価の数字を表す電光掲示板のようにぐるぐるぐる。

回って回って「過去と人は変えられない」が思考の正面にきた時に「たしかに過去と人は変えられない」、でも！「過去と人への解釈は自分によって自由に変えられる」という思考につながりました。もっと早くこの考えと出合っていたら私、離婚していなかったかな？ いや、結婚していなかったかな？ と思考はさらにディープゾーンへ…。

執着から自由になろう！？

何が言いたいのかというと、離婚にも置き換えられるな、と。「あの時、結婚しなければ」とか「なんで2回も似たような男に…」

女性こそ、職と投資を抱け！

苦い経験も自由&自立のパワーに



とか過去の「れば」とか「なんで」にずっととらわれなくても、ずっと縛られなくても、いいんです！ ということ。円満な離婚なんてひとつもないと私は根っこで思っています（商法、プライド的な演出はあれど）。離婚までの道中、大いにネチネチブチブチしている。でもある一定期間恨みまくったら自由になろう、自分のために、と。

人生という時間には限りがあるし、その中で輝ける時期も朝日が昇って日が沈むように限りがあるから。

もし、今、過去の経験を思い出して、つらい日々をお過ごしのアなたがいるなら、いったん、執着からドロシます！ で逃げてみると人生が好転するきっかけになるかもしれません。

不動産エージェンシーのやりがい

そのためにも日本一の離婚率を誇る？ 沖縄県に暮らす、特に女性！（ジェンダーフリーですがここでは伝わりやすく）。「女性こそ、職と投資を抱け！」と私はウィスパーボイス

であなたの耳元でささやきます。

その理由とメリットは三つ！

- お仕事についていると安定した収入が得られます＝金融機関からの信頼が生まれます。
- （できたら独身のうちに）毎月の収入の10%前後で手堅く運用することからスタートします。
- その信頼と運用で得た利益（多少の損は勉強代）を元手に金融機関から借入し、あなたも不動産オーナー、またはほかの投資にチャレンジ。

ちなみに、学歴や社会人経験に自信がなく何をしたいんだか…と悩めるシングルマザー（ファザー）にこそ「不動産売買エージェント」というお仕事をお勧めしたいです。まず、宅地建物取引士にチャレンジしてみてください。この資格のいいところは間口が広く中卒からチャレンジできるところ。医者や患者の体を診ますが、私たち不動産エージェンต์はお客さまがいちばん見せたくない部分、心やお金（資産）の部分と向き合います。常に学び続ける仕事ですが、やりがいと感謝が生まれる仕事です。

また、同業他社の諸先輩方もシングルという背景のチャレンジャーを積極的に受け入れていただきたいです。

過去や人へ固執していたところから、自分で動いて時間（お金）を有効活用しよう！ としょっぱい経験も自由&自立のパワーに変えていく域に達すると…って、ますます沖縄の離婚率があがっちゃうかな（＾＾）／

＝毎月第3週に掲載

執筆者



かわばた・ゆかり／1971年、浦添市出身。短期大学卒業後、那覇空港地上職・地元情報誌編集・建設会社不動産部勤務を経て1999年㈱とまとハウジング設立。趣味は猫とお酒と読書、仕事が絡まないゴルフ。<https://www.tomato-okinawa.com/rikon/>